

2025年3月5日

No. 2024-041

## バルクキャリア “MOUNT YOTEI” 引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：廣瀬 崇）は3月5日（木）、津事業所（三重県津市）にてMI-DAS LINE S.A.（ミダスラインエスエー）向けに建造していたバルクキャリア(N211BC) “MOUNT YOTEI（マウント ヨウテイ）” を引渡しました。

本船は鉄鉱石/石炭の太平洋トレード用のケープサイズバルカーとして圧倒的なパフォーマンスを誇るJシリーズ 211BCの系譜を継いだ、後継新設計船 N211BCの2番船です。最新の省エネ技術を織り込み、当社従来船と同じ船体要目を維持し、2025年規則に先行したEEDI PhaseⅢの達成、NOx(窒素酸化物)排出規制 Tier III、SOx(硫黄酸化物)排出規制等の最新規則を折り込んだうえで、載貨重量の維持と燃費低減を両立している点です。

### 【本船概要】

主要寸法	: 全長 Max. 299.99m x 幅 50.00 m x 深さ 25.00 m x 喫水 18.40 m
載貨重量	: 211,928 トン
総トン数	: 108,999
主機関	: HZME MAN-B&W 7S60ME-C10.6-HPSCR
航海速度	: 14.0 ノット
定員	: 25 名
船級	: ABS
船籍	: Liberia

### 【特長】

- ・JMU独自の省エネデバイスである Super Stream Duct<sup>®</sup>、SURF-BULB<sup>®</sup>、ALV-Fin<sup>®</sup>の装備・最適化等により、大幅な推進性能を向上させ燃費削減を達成しています。
- ・2020年1月1日から一部指定海域を除いた一般海域へ適用されているSOx排出規制に対して、SOxスクラバー\*1を標準搭載して適合しています。
- ・LEADGE-Bow<sup>®</sup>と呼ばれる船首形状、及び、低風圧居住区の採用により、実海域性能を向上。
- ・従来デザインのGシリーズ 209BCよりも輸送効率を良くしたうえで、GHG(温室効果ガス)排出規制であるEEDI(エネルギー効率設計指標) \*2 に対しては2025年以降の契約船に適用されるPhaseⅢレベルを先取りし、より環境に配慮しています。

\*1 SOxスクラバーは、主機関および発電機からの排気ガスを、装置内で散布される海水で洗浄し、酸性雨等の原因と言われているSOxを分離・吸収させ、大気への排出を抑制する装置であり、船舶からの排気ガスによる環境負荷を低減することを目的とした装置です。

\*2 “Energy Efficiency Design Index” (エネルギー効率設計指標)の略

弊社は今後も、経済性・環境性に優れた最新鋭のエコシップの開発・建造に努めてまいります。

